



会長 あいさつ

農業委員会
会長 今 耕



明けましておめでとうございます。日頃より農業委員会の活動に対し、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、台風や豪雨が各地に被害をもたらし、10月に上陸した台風19号は、関東地方や甲信地方、さらには東北地方で記録的な大雨となり、那須町においても、農地や農作物等に甚大な被害をもたらしました。被災されました皆様に対し心からお見舞い申し上げます。

また、元号も平成から令和となり、新しい時代の始まりでもあり、新たな令和の時代も、平和であることを心から願っております。

さて、改正農業委員会法が施行され、「農地等の利用の最適化」が業務の柱となり、担い手に対する農地の利用集積の促進や遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等、多様化する

地域の事情に応じた農業経営の活性化対策等の取り組みが主要業務となっております。農業委員会としまして、農業振興を進める上で大変重要なことであると考えております。

また、平成29年7月に那須町農業委員会が新体制となつてから、今年の7月で農業委員及び農地利用最適化推進委員が3年間の任期満了を迎えることとなります。この3年間、農業振興や農家の経営安定のため、法律に基づき農地の貸借・売買や農地転用の許認可、農地パトロール等、農地利用の最適化のための活動を実施してまいりました。今後さらなる農業の発展に向け、農業委員会一丸となつて業務に取り組んでまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして、実り多い一年になりますことを心から祈念し、新年のごあいさつといたします。

令和2年度 町農地等利用最適化 推進に関する意見及 び町農業等施策並び に予算に関する要望 と町からの回答

農業委員会では、「令和2年度町農地等利用最適化推進に関する意見及び町農業等施策並びに予算に関する要望」をまとめ、10月15日に平山町長へ要望書を提出し、12月5日に町から回答がありました。要望、回答の概要は、次のとおりです。

黒…要望
緑…回答

1 稲作部門について

【(1)農業用排水路等及び農道の整備推進【要望】】各地で豪雨災害が頻発していることや施設の老朽化に伴う補修・整備は、稲作農家に大きな負担となつていことから、整備に係る県単補助金の町負担分の上乗せや町単独土地改良事業費補助金の引き上げ等、支援の拡充を要望します。

【(2)農業用施設や農道の整備【回答】】農業用施設や農道の整備については、県営事業や町単独事業の活用をお願いしていると

ですが、今後の県単事業における町負担分及び町単独事業補助金の引き上げについては、県単事業や近隣市町の補助金等の動向を見極め検討してまいります。

2 畜産部門について

【(1)堆肥の利用促進【要望】】本町は、畜産農業を振興しており、その結果副産物として堆肥が発生し年々増加している状況にあります。この堆肥について、畜産農家のみならず耕畜連携等、堆肥の利用拡大推進を要望いたします。

また、町農業公社等を窓口とした効率・効果的な流通システムの構築を要望いたします。

【(2)堆肥の利用促進【回答】】堆肥の利用促進については、経営所得安定対策事業により飼料作物等への転作を誘導し畜産農家へ供給させることや、畜産農家が生産する堆肥を耕種農家へ供給させる取り組み等、循環型農業の体制づくりを推進してまいります。また、効果的な流通システムの構築につきましては、関係機関と連携し検討してまいります。

3 農村活性化対策について

【(1)担い手の育成及び支援対策【要望】】「人・農地プラン」を中心に、六次産業化、農工商との連